

施策 5

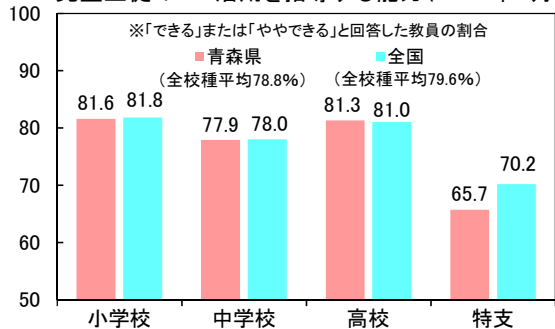
こどもの学びを支える教育環境の整備ときめ細かな指導の
充実にに向けた人財の確保・育成

■2023(令和5)年度の主な取組・成果

- 県立学校施設の老朽化解消のため、野辺地高等学校等3校において、校舎等の長寿命化改修及び改築を行いました。
- 県立特別支援学校における教室不足解消のため、むつ養護学校等2校において、増築等設計を行いました。
- 高等学校等就学支援金及び奨学のための給付金により、家庭における教育費負担軽減を図り、全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けられる環境づくりを推進しました。
- 県立学校における教育環境の充実を図るため、産業教育、理科教育及び特別支援教育設備の整備を行いました。
- 青森県立高等学校教育改革推進計画第2期実施計画に基づき、県立高等学校の情報等を発信するホームページの開設や全国からの生徒募集に係る取組を行いました。また、令和10年度以降の魅力ある県立高等学校のあり方を検討するため、「青森県立高等学校魅力づくり検討会議」や「高等学校教育に関する意識調査」を実施しました。
- 県内全自治体が参加するGIGAスクール推進協議会において、情報化の推進に関わる研修や教育環境の整備に関わる課題等の解決に向けた情報を共有したほか、県立学校教員のICT活用指導能力の向上を図るため、ICTを活用した授業実践や教員研修に取り組みました。
- 新任教員に対する初任者研修、中堅教諭等資質向上研修を実施し、教職員の資質・能力の向上を図りました。
- 個に応じたきめ細かな学習指導や生活指導を行うため、本県独自の少人数学級編制（小学校全学年及び中学校1・2年生を対象とした1学級33人編制）を実施しました。
- 教員の負担を軽減するため、スクールサポートスタッフを公立小・中学校、県立高等学校及び県立特別支援学校の合計88校に配置を拡充したほか、スクールロイヤーを県内6地区に配置するなど、外部人材の活用を図りました。

■施策の現状を表す指標の動向等

(%) 児童生徒のICT活用を指導する能力(2023年3月)



資料: 文部科学省「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」

2023年3月時点における教員の「児童生徒のICT活用を指導する能力」は、概ね全国平均と同程度となっています。

■主な課題と今後の取組の方向性

主な課題	今後の取組の方向性
<p>県立学校施設の老朽化の解消、耐震対策や教育環境の充実等について、計画的に対応する必要があります。</p> <p>また、県立学校における産業教育、理科教育、特別支援教育の一層の振興及び教育の情報化を図るため、各種設備の整備について継続的に取り組む必要があります。</p>	<p>老朽化の解消等による安全・安心の確保と、特別支援学校の教室不足の解消及び各種設備の整備等による教育環境の充実等への対応を着実に進めていきます。</p>
<p>1人1台の情報端末の整備が進み、ICTをより効果的に活用した教育活動が求められている中で、教員の授業におけるICT活用指導力の向上に重点的に取り組む必要があります。</p>	<p>GIGAスクール推進協議会において、情報化の推進に関わる研修や教育環境整備に関わる課題解決に向けた情報共有を進めます。</p> <p>また、高等学校では、ICTを活用した教科別の授業実践事例研究や研修支援を、特別支援学校では、障がい種や個々の障がいに応じたICTを活用した授業実践や研修等を行い、各校種ごとの活用事例等を県全体で蓄積・共有するなど、教員のICT活用指導力向上のための支援に取り組みます。</p>

主な課題	今後の取組の方向性
<p>小学校教員の欠員数が増加しているほか、教員採用試験の応募者数も減少しており、引き続き外部人材の活用による教員の負担軽減に取り組むとともに、教員として働くことの魅力を伝えていくことが必要です。</p>	<p>スクールサポートスタッフやスクールロイヤー等の配置により、教職員の負担軽減を図り児童生徒と向き合う時間の確保に取り組むほか、小学校教員の魅力を伝えるインタビュー動画の作成、教員免許保有者を対象とした研修会の開催等により、小学校教員の志望者の増加を図ります。</p>

(参考) 2023(令和5)年度における県教育委員会の主な事業の取組状況

1 学校等における法務相談体制整備事業【教育政策課】 1,044千円

<p>取組状況</p>	<p>深刻な児童生徒間トラブルや外部からの過剰な要求等に対応する教職員の負担軽減等を図るため、県内6地区に1人ずつスクールロイヤーを配置し、定期相談会を各地区で合計11回実施するとともに、スクールロイヤーを随時学校へ派遣し、延べ36件の法務相談に対応した。</p> <p>また、外部対応等に係る教職員のスキルアップを図るため、教職員を対象とした研修会を11校で実施したほか、いじめの未然防止を図るため、児童生徒を対象としていじめ防止教室を6校で実施した。</p>
-------------	---

2 教職員研修【学校教育課】 2,163千円

<p>取組状況</p>	<p>採用5年から7年目及び採用12年から15年目の教職員に対し、中堅教職員としての資質の向上並びに学習指導及び生徒指導などの実践力を育成するための研修を実施した。</p> <p>各校において、年間5日から7日の校内での研修を実施するとともに、県総合学校教育センターなどにおいて、年間4日から8日の校外での研修を実施（受講者数：小学校89人、中学校54人、高等学校129人、特別支援学校59人）した。</p>
-------------	--

3 初任者研修【学校教育課】 12,453千円

<p>取組状況</p>	<p>新採用教員に対して、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を習得させるために、職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修を実施した。各校において年間180から240時間の実地研修を実施するとともに、県総合学校教育センター、各教育事務所などにおいて、年間12日の校外研修を実施（受講者数：小学校62人、中学校46人、高等学校17人、特別支援学校38人）した。</p>
-------------	---

5 こどもの学びを支える教育環境の整備ときめ細かな指導の充実に向けた人財の確保・育成

4 AOMORI 多文化共生推進事業【学校教育課】 3,710千円

取組状況	外国につながるのあるこどもの日本語指導体制の確保・充実にを図るため、連絡協議会を2回開催し、教員や関係機関との連携を図るとともに、県内関係機関と連携して県立高等学校及び市町村立小・中学校に在籍する外国につながるのある子どもへの日本語支援を行った。
------	---

5 県立学校情報通信技術支援事業【学校教育課】 12,276千円

取組状況	生徒1人1台の情報端末の利用に当たり、情報端末の不調や情報端末への必要な設定に関する問合せ対応やマニュアルの提供等を行い、各校のICT担当教員の負担軽減につながる支援を行った。
------	--

6 あおもりっ子育みプラン21事業【教職員課】 1,020,651千円

取組状況	個に応じたきめ細かな学習指導や生活指導を行うため、小学校全学年及び中学校1・2年生を対象とした1学級33人の少人数学級編制などを実施した結果、基本的な生活習慣の定着、学習意欲・基礎学力の向上が図られたほか、ゆとりを持った個別指導が可能となり、指導の充実が図られた。
------	--

7 外部人材活用によるスクールサポートスタッフ配置事業【学校教育課・教職員課】

153,119千円

取組状況	教職員の業務支援のため、学習プリント等の印刷などを教員に代わって行うスクールサポートスタッフを公立小・中学校42校、県立高等学校及び県立特別支援学校46校に配置した結果、教員の教材研究や子どもと向き合う時間が確保され、教員本来の業務に専念できる体制づくりが図られた。
------	---

8 高校奨学金貸与事業費補助【教職員課】 20,089千円

取組状況	経済的理由により修学困難な高校生等への支援を図るため、公益財団法人青森県育英奨学会が行う高校奨学金貸与事業実施に要する経費について補助を行った。
------	--

9 県立高等学校等就学支援金事業【学校施設課】 1,999,967千円

取組状況	一定の所得未満の世帯の県立高等学校等の生徒に対し、授業料に充てるための就学支援金を支給し、家庭における教育費の負担軽減を図った。
------	--

10 奨学のための給付金事業（公立）【学校施設課】 329,343千円

取組状況	全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けられるようにするため、県立高等学校等の生徒の保護者等のうち低所得世帯にある者に対し、奨学のための給付金を給付し、授業料以外の教育費の負担軽減を図った。
------	--

11 産業教育設備整備費【学校施設課】 377,095千円

取組状況	産業教育の推進のため、五所川原農林高等学校等13校において、産業教育設備を計画的に整備し、教育環境の充実を図った。
------	---

12 理科教育等設備整備事業【学校施設課】 8,121千円

取組状況	本県における理科等教育の推進のため、青森高等学校等30校において、理科に関する教育の設備を整備し、教育環境の充実を図った。
------	---

13 教育用コンピュータ整備費【学校施設課】 161,220千円

取組状況	ICT等情報教育の推進のため、青森高等学校等67校において、教育用コンピュータ等を計画的に整備し、教育環境の充実を図った。
------	---

14 教材・設備整備事業（特別支援学校）【学校施設課】 27,976千円

取組状況	児童生徒の障がいや発達段階、特性に応じた社会的自立を促すため、県立盲学校等20校において、使用する教材・設備などを整備し、教育環境の充実を図った。
------	---

15 県立学校大規模改修事業【学校施設課】 1,927,577千円

取組状況	県立学校施設の安全・安心の確保や機能回復等のため、建築後20年以上を経過している青森北高等学校等43校の校舎等の大規模改修を実施した。
------	---

16 県立学校校舎等建築調査設計費【学校施設課】 292,654千円

取組状況	県立学校施設の安全・安心の確保のため、弘前高等学校等2校の老朽化対策に係る事前調査を実施したほか、木造高等学校等3校の改築に向けた基本計画の策定及び五所川原高等学校等9校の設計を実施した。
------	--

17 県立学校校舎等建築費【学校施設課】 1,116,146千円

取組状況	県立学校施設の安全・安心の確保のため、三沢高等学校等10校の校舎改築等を実施した。
------	---

18 県立学校校舎等長寿命化・重点改良事業【学校施設課】 326,675千円

取組状況	県立学校施設の安全・安心の確保や機能向上等のため、野辺地高等学校等3校の校舎長寿命化改修等を実施した。
------	---

19 県立高等学校教育改革推進事業【高等学校教育改革推進室】 23,154千円

取組状況	第2期実施計画に基づき、県立高等学校の情報等を発信するホームページの開設や全国からの生徒募集に係る取組を行うとともに、令和10年度以降の魅力ある県立高等学校のあり方を検討するための検討会議や意識調査を実施した。
------	---

20 高等学校におけるICTを活用した資質・能力を育む授業づくり推進事業

【学校教育課】 3,677千円 (施策1に掲載)

21 特別支援学校におけるICTを活用した自立と社会参加を目指す学びの推進事業

【学校教育課】 4,874千円 (施策1に掲載)

22 学校における文化部活動推進事業【学校教育課】 2,128千円 (施策6に掲載)

23 スクールライフサポーター配置事業【教職員課】 3,730千円 (施策4に掲載)

24 特別支援学校におけるコミュニティ・スクール導入事業【生涯学習課】 1,464千円

(施策6に掲載)

25 高等学校におけるコミュニティ・スクール導入モデル事業【生涯学習課】 507千円

(施策6に掲載)

26 命を守る！防災教育推進事業【スポーツ健康課】 2,139千円 (施策2に掲載)

27 学校における運動部活動推進事業【スポーツ健康課】 9,251千円 (施策6に掲載)

28 地域スポーツクラブ活動体制推進事業【スポーツ健康課】 4,530千円 (施策6に掲載)

載)